

廃棄物の減量及び再利用に関する計画書（第2号様式）の記入方法

- ア 排出量はテナント等が独自に処理している分も含め、建築物から発生するすべての排出量を記入してください。
- イ 廃棄物の排出量等の記入にあたっては、1年間(4月から翌年の3月まで)の量をトン単位で記入してください。小数点以下は第2位を四捨五入して、小数第一位まで記入願います。（例：0.1 t = 50 kg以上 150 kg未満）
- ウ 新規建築物など前年度の実績がない場合には空欄で提出してください。
- エ 記入欄に書ききれない場合は別紙を添付してください。
- オ 本計画書が数棟の合算で作成されている場合は、建築物の名称と延べ床面積の内訳及び建築物の配置図(A4判)を添付してください
- カ 細かな区分けが出来ない場合は、その他欄にまとめて記入してください。
- キ 粗大ごみの扱いは、木製の家具・什器等については、一般廃棄物その他欄に記入。金属製の家具・什器類等については、産業廃棄物金属くず欄に含めて記入してください。ただし、廃掃法第2条第3項及び施行令第1条に定める建設業者等は、産業廃棄物その他欄に記入願います。
- ク 清掃工場に搬入された一般廃棄物については、「C処分量」に記入してください。
※焼却灰をエコセメント化した場合も含む
- ケ 記入例にて“注”で表示されているものは次のように記入してください。
- 注① 本計画書の作成年月日を記入。
- 注② 所有者のほか、①管理組合の代表者、②建築物の共有者または区分所有者の中から選んだ代表者、③賃貸等による実際の使用者・占有者、④所有者から管理権限を与えられている管理会社など、が代わりに提出も可能。
- 注③ 共用部分とは階段、廊下、機械室、ロビーといった不特定多数の方が使用している部分をいう。
- 注④ テナント名を記入。書ききれない場合等は別紙でも可。
- 注⑤ 滞在者(病院の入院患者等)も含む、1日の平均人数。
- 注⑥ 今後の具体的な計画(品目、期日、方法、目標値など)を記入。
- 注⑦ 業者ごと、品目ごとに記入。「5 廃棄物収集運搬業者」は許可番号も記入(一般廃棄物は八王子市の許可、産業廃棄物は東京都の許可、許可証やホームページ等で確認)。

なお、一般廃棄物の処分先は原則として八王子市処理施設。

注⑧ 第一号様式により届け出ている廃棄物管理責任者と同じ。

注⑨ 実務上の担当者を記入。

※提出書類に関する問い合わせや、訪問調査のアポイントを取る際に連絡させていただく場合があります。

注⑩ () 内には、木くず等、具体的な廃棄物の種類を記入。

注⑪ 排出量は、再利用量と処分量の合計数字

自社内で廃棄物を処理（生ごみ処理機等）している場合、表面「7 廃棄物保管場所等の設置状況」にその旨を記入し、再利用量欄に記入。なお、残渣が発生する場合、その分については再利用量から差し引き、処分量に記入。

注⑫ びん類、缶類は自販機業者の引取り分についても排出量に含める。

注⑬ 再利用率は、再利用量を排出量で除す。百分率で小数点以下第一位まで記入（小数点第2位を四捨五入）。

注⑭ 機密文書とは、機密情報や個人情報などが記載された文書を指す。市内の清掃工場等で焼却している場合は、処分量に記入。

注⑮ 飼料化、肥料化、エネルギー化等により、資源化をしている場合は、再利用量に記入。

記入例

第2号様式（第13条関係）（表）
八王子市長 殿

廃棄物の減量及び再利用に関する計画書

番号（市役所記入欄）

注① 平成△△年5月22日作成

建築物名称	〇〇八王子ビル
所在地	八王子市△△町2-8-1
所有者氏名	注② 〇〇不動産(株) 八王子太郎 印

八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第19条第3項の規定により、一定規模以上の事業用建築物における_____年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

1 建築物の属性	
建築物の規模 〔主たる建築物に限る〕	地上 12階、地下 2階、延べ床面積 22,520 m ² (内訳) 10,000 m ² 以上 1棟、3,000 m ² 以上 棟 3,000 m ² 未満 棟 計 1棟
建築物の用途 〔計は建築物の規模に記載の延べ床面積に一致〕	事務所 5社 13,500 m ² 店舗 1店 820 m ² 住宅 世帯 その他の() 所 共用部分 注③ 8,200 m ² 計 22,520 m ²
竣工年月	平成◇◇年〇月
当該建築物を使用している事業者の名称 〔自己使用している場合は記入不要〕	注④ 〇〇銀行西八王子支店、□□商事、△喫茶店、 ☆☆診療所、
在館人員	従業員 1,500人、外来者 注⑤ 3,000人

2 ごみ減量及び再利用の現況
平成20年9月より各フロアに3段のリサイクルボックスを置き、紙類の分別を実施している。分別の種類は①コピー用紙②パンフレット等③新聞紙。ダンボールはテナント毎にまとめて地下集積所の所定の場所へ置く。リサイクルボックスは清掃職員が毎日夕方回収し、資源回収業者には週1回引き渡している。

3 注⑥ 今年度の目標
分別体制はできたので、内容の充実を図っていく。 6月からはコピー用紙を全部再生紙のものに切り替える。 テナントが1社増えるため発生量が増えるが、分別の徹底により再利用率を55%まであげる予定である。

4 注⑦ 再生资源回収業者		
回収業者名	資源物の種類	処理先
〇〇紙業(株) □□商店 (有)△△興業	紙類 びん類 缶類	〇〇紙業(株) (株)◇◇◇硝子 ***鉄鋼(株)

5 注⑦ 廃棄物収集運搬業者			
許可業者名	許可番号	廃棄物の種類	処分先
〇〇商事(株) □□商店 ☆☆☆☆(株)	八王子市第◇号 第13- 〇-〇〇〇号 第13- △-△△△号	一般廃棄物 産業廃棄物 医療系廃棄物	八王子市処理施設 (株)東八王子興産 (株)日本クリーン (医療系中間処理)

6 資源物保管場所の設置状況
地下 1 か所、延べ 8 m ² 上記の内訳・形態・規模等 コンテナボックス(900ℓ)×2個

7 廃棄物保管場所等の設置状況
2 か所、延べ 10 m ² 上記の内訳・形態・規模等 医療廃棄物・・・ダンボール箱(35ℓ)×10箱 レントゲン廃液・・・廃液タンク(500ℓ)×2個 厨芥ごみ等・・・プレハブ冷蔵庫1台 パッカーコンテナシステム機器

廃棄物管理責任者 注⑧	担当者 注⑨	役職	電話番号
八王子 一郎 印	高尾 二郎	ビル管理課長	042(6△△)△△△△

第2号様式(裏) ○ 廃棄物の排出量等は4月から翌年の3月までの1年間の量をトン単位で4捨5入のうえ少数第1位まで記入してください

8 減 量 及 び 再 利 用 計 画 (単位 トン)													
種 類		年度区分	前年度実績 (年 4 月 ~ 年 3 月)				今年度計画 (年 4 月 ~ 年 3 月)				対 前 年 度 増 △ 減		
			A (B+C)		処 理 区 分		D (E+F)		処 理 区 分				
			排 出 量 注⑩	B 再利用率	C 処分量	再利用率 (B/A) 注⑪	排 出 量 注⑩	E 再利用率	F 処分量	再利用率 (E/D) %	D - A	E - B	F - C
一 般 廃 棄 物	紙 類	新 聞 紙	1.5	1.5		100.0	1.2	1.2		100.0	-0.3	-0.3	
		ダ ン ボ ー ル	2.5	2.5		100.0	2.0	2.0		100.0	-0.5	-0.5	
		雑 誌 ・ 雑 紙	29.0	14.0	15.0	48.3	30.0	20.0	10.0	66.7	1.0	6.0	-5.0
		O A 紙	100.0	100.0		100.0	110.0	110.0		100.0	10.0	10.0	
		機 密 文 書 注⑭	50.0	50.0		100.0	45.0	45.0		100.0	-5.0	-5.0	
		そ の 他 (注⑩)											
	小 計	183.0	168.0	15.0	91.8	188.2	178.2	10.0	94.7	5.2	10.2	-5.0	
	食 品 廃 棄 物 注⑮	70.0	50.0	20.0	71.4	60.0	45.0	15.0	75.0	-10.0	-5.0	-5.0	
	そ の 他 可 燃 ご み	50.0		50.0		50.0		50.0					
	そ の 他 (注⑩)												
計	303.0	218.0	85.0	71.9	298.2	223.2	75.0	74.8	-4.8	5.2	-10.0		
産 業 廃 棄 物		ビ ン 類 注⑯	5.0	5.0		100.0	5.0	5.0		100.0			
		缶 類	10.0	10.0		100.0	10.0	10.0		100.0			
		ペ ッ ト ボ ト ル	15.0	15.0		100.0	15.0	15.0		100.0			
		廃 プ ラ ス チ ッ ク	30.0	15.0	15.0	50.0	30.0	15.0	15.0	50.0			
		ガ ラ ス ・ 陶 器 く ず	20.0		20.0		20.0		20.0				
		金 属 く ず	15.0	15.0		100.0	15.0	15.0		100.0			
		廃 油											
		焼 却 灰	5.0		5.0						-5.0		-5.0
		汚 泥											
		そ の 他 (注⑩ 感染性医療廃棄物)	3.0		3.0		3.0		3.0				
そ の 他 (注⑩)													
そ の 他 (注⑩)													
計	103.0	60.0	43.0	58.3	98.0	60.0	38.0	61.2	-5.0		-5.0		
合 計	406.0	278.0	128.0	68.5	396.2	283.2	113.0	71.5	-9.8	5.2	-15.0		

※ 提出期限 毎年6月末日 ○ 再利用率(%)は、計算式により小数点第2位以下を4捨5入し第1位まで記入してください(例 25.3)